



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ライトアップ
 コード番号 6580 URL <https://www.writeup.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 崇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 村越 亨
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5784-0700

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	799	9.0	110	744.1	110	775.4	74	673.2
2020年3月期第2四半期	733	5.6	13	84.9	12	83.0	9	83.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	28.48	28.25
2020年3月期第2四半期	3.69	3.65

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	1,984	1,696	85.5	648.75
2020年3月期	1,982	1,622	81.8	620.31

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 1,696百万円 2020年3月期 1,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,089	12.8	405	57.3	404	57.9	280	82.6	107.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	2,903,000 株	2020年3月期	2,903,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	288,001 株	2020年3月期	287,923 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	2,615,030 株	2020年3月期2Q	2,612,700 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって、予想の業績と異なる場合がありますので、ご了承下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の流行による影響により企業活動や個人消費が大きく収縮し、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社は、在宅勤務や時差出勤の実施など新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、「全国、全ての中小企業を黒字にする」という理念に基づいて各事業を展開した結果、当第2四半期累計期間の売上高は799,862千円(前年同四半期比9.0%増)、営業利益は110,509千円(同744.1%増)、経常利益は110,670千円(同775.4%増)、四半期純利益は74,465千円(同673.2%増)となりました。

なお、当社は、下期に売上が偏重する傾向にあります。これは、「Jエンジン」のコンサルティング内容に含まれる公的支援制度活用支援サービスの提供開始時期が年度の更新作業等で期初数か月ずれることや、年度末の3月に公的支援制度の申請締切が集中すること等に起因いたします。また、コンテンツ制作においては、12月及び3月に顧客企業に対する納期が集中する傾向にあります。これらの要因により、今期の売上予算につきましても、下期に売上が偏重する計画を立てております。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

なお、当第2四半期累計期間より、事業環境の変化に伴い、実態に即した名称にするため、従来の「クラウドソリューション事業」から「DXソリューション事業」にセグメント名称を変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

DXソリューション事業におきましては、パートナー企業と共同で実施するIT・人材・マーケティング関連商材の共同開発、共同仕入れ及びそれら企業への営業支援を行っている「JDネット」サービスと、経営課題解決エンジン「Jエンジン」を軸にIT・人材・マーケティング・資金確保の4つの視点から経営課題の解決施策を提案するコンサルティングサービスを展開してまいりました。当第2四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第1四半期累計期間に引き続き公的支援制度の活用ニーズへの高まりを受け、「Jエンジン」領域のコンサルティング受注が増加いたしました。また、補助金・助成金診断システム「Jシステム」のOEM提供も堅調に進捗いたしました。「JDネット」においては、業態転換を図る企業が増加したことから、新規パートナー企業の加入が増加傾向にあります。また、従来より実施していた金融機関等との共同開催による経営支援セミナーを当社単独でのオンラインセミナーに変更して実施したことにより、集客・開催コスト等を大幅に削減することができました。

この結果、同セグメントの売上高は642,234千円(前年同四半期比17.2%増)、セグメント利益は184,108千円(同130.5%増)となりました。

コンテンツ事業におきましては、業種や規模を問わず、様々な企業の「メール・Webマーケティング」等の企画制作の受託サービスを展開しており、市場環境の変化に合わせてサービスの受注拡大と生産性向上に努めてまいりました。当第2四半期累計期間は、メール分野は堅調でしたが、ソーシャルメディア分野及びコンテンツ分野においては新型コロナウイルス感染症拡大により受注件数の減少や制作リードタイムの長期化等の影響を受け減収となりましたが、利益面では前年同四半期と同水準となりました。

この結果、同セグメントの売上高は157,627千円(前年同四半期比15.2%減)、セグメント利益は42,985千円(同2.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比べ2,243千円増加し、1,984,622千円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が113,811千円減少した一方で、現金及び預金が62,388千円、貯蔵品が27,918千円、投資その他の資産のその他に含まれている長期未収入金が25,100千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比べ72,089千円減少し、288,134千円となりました。これは主に買掛金が34,941千円、短期借入金が20,000千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比べ74,332千円増加し、1,696,487千円となりました。これは主に利益剰余金が74,465千円増加したことによるものであります。純資産の内訳は、資本金386,381千円、資本剰余金304,281千円、利益剰余金1,290,150千円及び自己株式△284,324千円であります。

なお、自己資本比率は85.5%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ62,388千円増加し、1,558,621千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、82,111千円となりました。これは主に税引前四半期純利益110,670千円、売掛債権の減少額88,710千円等があった一方で、仕入債務の減少額34,941千円、法人税等の支払額56,117千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、1,336千円となりました。これは敷金及び保証金の回収による収入1,336千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、21,059千円となりました。これは主に短期借入金の減少20,000千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月15日の「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、通期中継続すると予想しており、今回の決算短信の業績もその予想を反映した内容となっております。今後、業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,496,233	1,558,621
受取手形及び売掛金	393,979	280,168
仕掛品	463	1,956
貯蔵品	968	28,887
その他	43,002	51,218
貸倒引当金	△82,255	△63,242
流動資産合計	1,852,391	1,857,609
固定資産		
有形固定資産	11,146	13,917
無形固定資産	15,575	14,285
投資その他の資産		
敷金	81,183	79,211
その他	72,259	95,016
貸倒引当金	△50,176	△75,418
投資その他の資産合計	103,266	98,809
固定資産合計	129,988	127,012
資産合計	1,982,379	1,984,622
負債の部		
流動負債		
買掛金	70,626	35,684
短期借入金	30,000	10,000
未払法人税等	56,118	40,241
前受金	102,784	132,483
その他	97,697	63,406
流動負債合計	357,226	281,814
固定負債		
リース債務	2,997	6,319
固定負債合計	2,997	6,319
負債合計	360,224	288,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	386,381	386,381
資本剰余金	304,281	304,281
利益剰余金	1,215,684	1,290,150
自己株式	△284,191	△284,324
株主資本合計	1,622,154	1,696,487
純資産合計	1,622,154	1,696,487
負債純資産合計	1,982,379	1,984,622

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	733,908	799,862
売上原価	244,125	197,909
売上総利益	489,782	601,953
販売費及び一般管理費	476,690	491,444
営業利益	13,092	110,509
営業外収益		
受取利息	6	7
その他	-	350
営業外収益合計	6	358
営業外費用		
支払利息	245	195
支払手数料	180	1
その他	31	-
営業外費用合計	456	196
経常利益	12,641	110,670
特別損失		
固定資産除却損	592	-
特別損失合計	592	-
税引前四半期純利益	12,049	110,670
法人税、住民税及び事業税	8,854	33,860
法人税等調整額	△6,436	2,343
法人税等合計	2,418	36,204
四半期純利益	9,631	74,465

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	12,049	110,670
減価償却費	3,359	3,058
貸倒引当金の増減額(△は減少)	31,066	6,228
受取利息	△6	△7
支払利息	245	195
支払手数料	180	-
有形固定資産除却損	592	-
売上債権の増減額(△は増加)	18,265	88,710
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,906	△29,366
仕入債務の増減額(△は減少)	△51,483	△34,941
前受金の増減額(△は減少)	15,518	29,698
その他の資産の増減額(△は増加)	△10,056	△12,189
その他の負債の増減額(△は減少)	3,106	△23,661
小計	24,743	138,393
利息の受取額	6	6
利息の支払額	△145	△171
法人税等の支払額	△39,853	△56,117
営業活動によるキャッシュ・フロー	△15,249	82,111
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△428	-
無形固定資産の取得による支出	△2,250	-
投資有価証券の取得による支出	△10,000	-
敷金及び保証金の回収による収入	-	1,336
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,678	1,336
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△133
短期借入金の増減額(△は減少)	-	△20,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,096	△926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,096	△21,059
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△29,023	62,388
現金及び現金同等物の期首残高	1,358,346	1,496,233
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,329,322	1,558,621

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	DXソリューション事業	コンテンツ事業	
売上高			
外部顧客への売上高	548,082	185,825	733,908
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	548,082	185,825	733,908
セグメント利益	79,888	42,131	122,020

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	122,020
全社費用(注)	△108,928
四半期損益計算書の営業利益	13,092

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	D Xソリューション事業	コンテンツ事業	
売上高			
外部顧客への売上高	642,234	157,627	799,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	642,234	157,627	799,862
セグメント利益	184,108	42,985	227,094

(注) 当第2四半期累計期間より、事業環境の変化に伴い、実態に即した名称にするため、従来の「クラウドソリューション事業」から「D Xソリューション事業」にセグメント名称を変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。なお、前第2四半期累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	227,094
全社費用(注)	△116,585
四半期損益計算書の営業利益	110,509

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。